

ドイツ語会話

責任者・コーディネーター	共通教育センター長、外国語学科・学科長		
担当講座・学科(分野)	共通教育センター		
担当教員	照井 則子 非常勤講師 (C1) 遠藤 スサンネ 非常勤講師 (C2)		
対象学年	第1学年	期間	後期
区分	講義	時間数	21時間

■ 学習方針（講義概要等）

ドイツ語という異言語の基礎を学び、異文化に対する理解を深める。それと同時に、コミュニケーションの輪を広げ、自己の視野を拡大する。これは、ゲーテの言葉「外国語を知らざる者は自国語も知るところがない」が示唆するように、自らがよってたつ言葉・文化の理解を深めることに通じている。

■ 一般目標（GIO）

ドイツ語の基礎を習得し、ドイツ文化に対する理解を深める。現在は多くの領域においてコミュニケーション・ツールとして英語が必須である。だが、さらに多様に他の異文化をその言語を通じて理解することは、一面的な見方を避け視野を広げることに通じている。ドイツ語と言えばドイツの学術や文化を連想させる。日本の学芸に多大の影響を与えてきたその文化を理解することは大きな知的刺激である。場面ごとの会話表現を習得するばかりでなく、同時にドイツ語の基礎を得ること、および異文化コミュニケーションの基礎としての地域研究的理解を得ることを授業の目標とする。

■ 到達目標（SBO）

1. ドイツ語の発音をすることができる。
2. 綴りと発音の関係を説明することができる。
3. ドイツ語の文章をつくることができる。
4. 辞書を用いてドイツ語の文章を読解することができる。
5. 基本的な会話場面の表現を言うことができる。
6. ランデスクンデとしての基本的事項をそれぞれ説明することができる。
7. 相手の話しを傾聴することができる。

■ 講義日程 (C1: 照井非常勤講師、C2: 遠藤非常勤講師)

【C1:(矢) 東 1-A 講義室】 【C2:(矢) 西 1-F 講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/7	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	アルファベットと発音、簡単な挨拶、ドイツ語とドイツ語圏
9/14	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 1 「お名前は」 動詞の人称変化 (1)、 定動詞の位置、疑問文
9/21	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 2 「こんにちは」 名詞の性、冠詞(1格)、 動詞の人称変化 (2)
9/28	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 3 「レストランで」 名詞の1格と4格、動詞の人称変化 (3)
10/19	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 1-3 補足
10/26	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 4 「誕生パーティー」 名詞の3格
11/2	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 5 「いくらですか」 所有冠詞
11/9	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 6 「結婚式の写真」 名詞の複数形、名詞の2格
11/16	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 4-6 補足
11/30	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 7 「ポツダム広場」 不規則動詞
12/7	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 8 「旅行」

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
					3 格支配の前置詞
12/14	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 9 「路上で」 4 格支配の前置詞
12/21	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	Lektion 7-9 補足、 ドイツ語圏のクリスマス
1/11	金	2	共通教育センター	照井非常勤講師 遠藤非常勤講師	まとめ

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	300 語で話すドイツ語	入谷幸江、 金井英一、他	三修社	2012
推	新アポロン独和辞典	根本 道也、他	同学社	2009

■ 成績評価方法

筆記試験（6 割）＋平常点（4 割）の方式

■ 備考

1. 学生を 2 クラス（C1・2）に分け、クラス 1（C1）を照井非常勤講師、クラス 2（C2）を遠藤非常勤講師が担当する。
2. 講義室
 - 照井クラス：（矢）東講義棟・1-A 講義室
 - 遠藤クラス：（矢）西講義棟・1-F 講義室

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット （エルモ、東芝、他）	1	講義資料の提示
講義	CD/MD ラジカセ	3	リスニング
講義	DVD/ブルーレイディスクプレーヤー	3	リスニング